

イオン出店は見直せ!

何も決まってるじゃない

ストップ! ザ イオン!

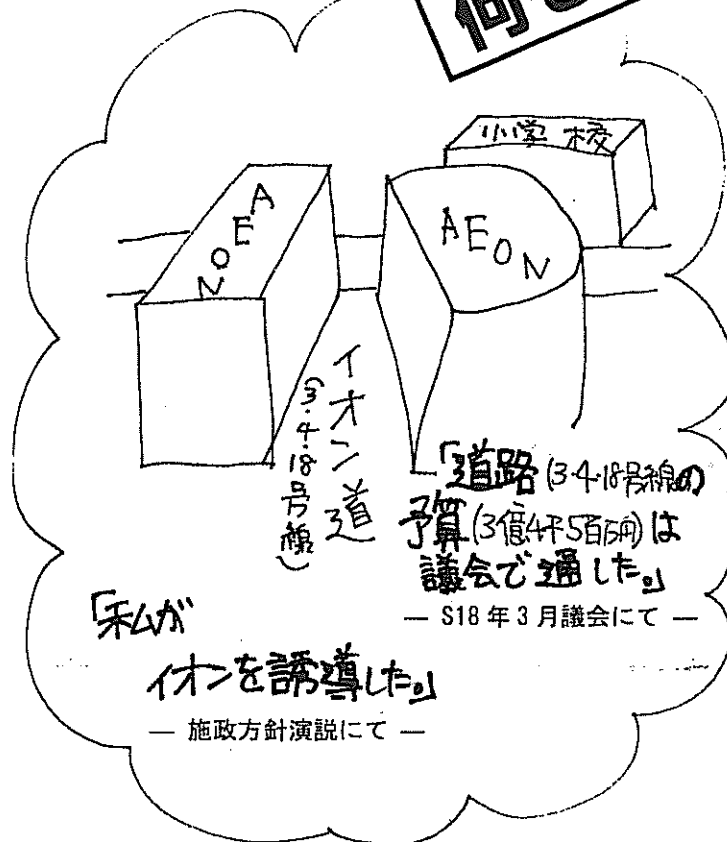


イオン出店とは、

イオン出店計画は、住民要求から
出発したものではない。
— 対市交渉の市側…談 —

全都でも、普通ではないケース
— 道路のせまき、学校が隣接している等 —
— 東京都アセス担当…談 —

商工会と、全商店会は
全て、反対!
— 全国でもまれなケース! —



現状は今!

アセス (東京都環境アセスメント) はまだ!

— イオン出店後の環境変化の予測がまだできていない —

都計審 (東久留米市都市計画審議会) もまだ!

— 住宅地から商業地への変更もまだ決まっていない —

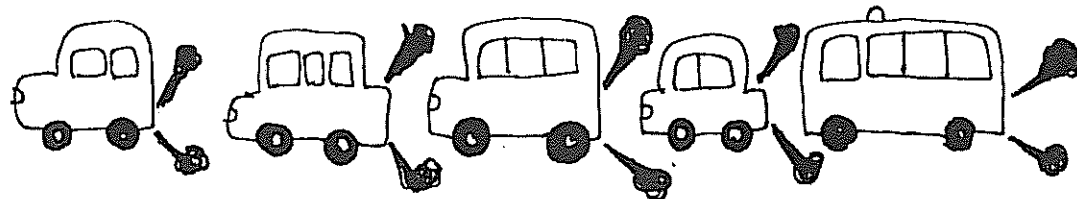
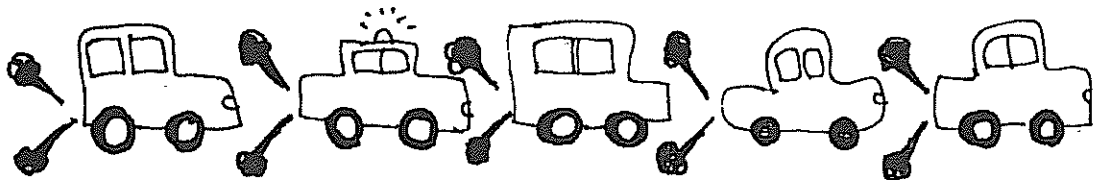
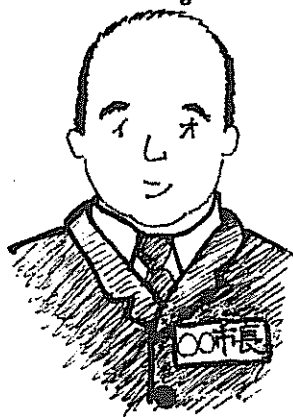
2007年春出店は
断念!

— イオン本社部長…談 —

旧第一勧銀グランド跡地利用と
環境を考える会

連絡先 Tel 042-476-2544

<http://members.jcom.home.ne.jp/kurumeweb/hkaeon.html>



交通・環境・健康・地域経済に重大な影響

「全国で例がない」とイオンが認める、小学校の前に一日数万台の自動車が出入りする大型店誘致は中止すべきだ

交通渋滞で大変に！

自動車だけで平日に7600台日・祝日は数万台のお客が見込まれています。自転車・徒歩はその数倍です。

周辺の道路は狭隘で日常的に大渋滞になることは明らかです

子どもの健康・非行が心配

深夜営業の商業・娯楽施設ができれば、青少年の溜まり、夜間の徘徊、万引きが増え非行の温床になる危険があります。

「全国で例がない小学校の前に出店」（イオンの説明）は自動車の排ガスによる気管支喘息など子どもの健康にも重大な影響を与えるもので、誘致は中止すべきです。

地域経済は大打撃！

大型店の売り上げは本社に吸い上げられてしまい、地元にはほとんど還元されません。

「まちづくり3法」が改正され「大型店は社会的責任として地域の生活環境を保持するために適切な対応を行うべき」と明記されました。

大型店の出店を規制し、街づくりを大事にすることが時代の流れです。

「イオン道路」の地権者が市に用地売却を拒否表明

イオン出店予定地は、出入り口となる道路もなく、第一種住居専用（中高層）地域です。そのままでは大型店（イオン）は出店出来ない地域です。市がイオン誘致を強引にすすめ、所沢街道から出店予定地（グラント跡地）までの150mを6億9000万円で建設をすすめています。その2分の一が市民の税金負担となります。

今回、この道路用地となっている有料老人ホーム「カルムコート武蔵野」の株式会社ユウシユウライフがイオン誘致に反対し、市に用地を売却しないことを明らかにしました。イオン出店の条件である道路が出来なければイオン誘致は中止せざるをえず、イオン出店中止の可能性が強まっています。

「旧第一勧銀グラント跡地と環境を考える会」

「旧第一勧銀グラント跡地利用と環境を考える会」（代表、塩田俊朗）は、超大型ショッピングセンター・イオン誘致計画を「市民参加で見直す」ことを求めています。

地域住民、商業者、自治会、新日本婦人の会、民主商工会、小学校・保育園・幼稚園などの父母でつくる市民団体に趣旨に賛同する市民（団体）は誰でも参加できます。イオン・市・市議会・都などに出店中止を要請し活動を行っています。

八王子市ではイオン出店中止（05年2月）

イオン（株）は世界の小売業界のトップテン入りをめざして、日本全国でしやにむに出店を行っています。

地域の商業売り上げをすべて吸い上げる戦略で出店した地域では地元の商店は売り上げが大幅に落ち込み倒産・閉店に追い込まれています。

東京・八王子市では市商工会議所と市民とが共同でとりくみ、05年2月にイオン出店を中止させました。

市民と商業者の共同のとりくみの成果です。